

## 前回会議（第4回協議会）の振り返り

（前回協議会）

日時：令和元年（2019年）6月7日（金）

場所：熊本市役所別館 駐輪場8階会議室

	ご意見	対応
1	・基本理念について、「持続可能性の継承」という表現が分かりづらい。（皆川委員）	・資料3にて修正案を提示する。
2	・江津湖は身近な生きものとふれあえる場所。希少生物だけでなく、在来生物全体として表現してほしい。（田畑委員）	・計画書として取りまとめるにあたり、表現を追記修正する。
3	・地下水は流域のつながりがあって湧水している。上流域との関わりや水田の役割も明記してほしい。（大住委員）	
4	・江津湖には自然にホタルが見られる場所もあるので、自然環境の中で忘れずに記載してほしい。（永野委員）	
5	・利活用を考えるうえで、「社交」は一つのキーワード。歴史を整理する中で、御茶屋が当時の社交の場であったことを補足してほしい。（星野副会長）	
6	・外来生物について、新たなものを出さない、出てもすぐ対処することを、この計画を機にしていきたい。（田畑委員）	・外来生物の駆除は、引き続き検討を行う。
7	・これまで行った浚渫について、その効果や影響についても整理すべき。（市川会長、藤山委員、田畑委員）	・次回の協議会までに整理して提示する。
8	・7つの基本方針には、土台となるものと相互に連携するものがある。計画のとりまとめに向けては整理したほうがいい。（星野副会長）	・計画書として取りまとめる際、基本理念や基本方針、事業の関連性を分かりやすく整理する。
9	・江津湖利用者にも意見を聞いてほしい。人が多いときの利用者と少ないときの利用者それぞれ。（田畑委員）	・今後、計画策定に向け、可能な限り広く意見を聞いていく。
10	・小学生と大学生だけでなく、中学生や高校生からも意見を聞いたほうがいい。（市川会長）	